



安全



社会



環境

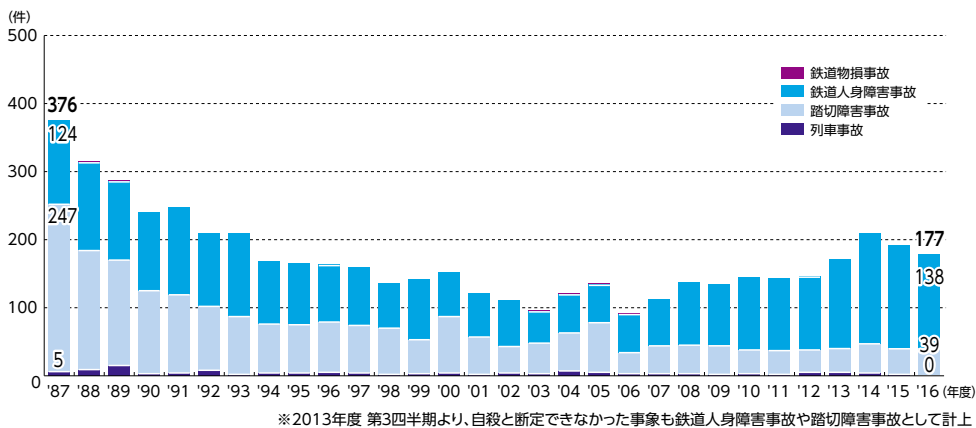
JR東日本の安全の現状

鉄道運転事故

2016年度の鉄道運転事故は177件と、会社発足当初の約1/2に減少しました。このうち、鉄道人身障害事故が全体の約8割を占めています。

列車事故	列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人又は車両等と衝突し、又は接触した事故
鉄道人身障害事故	列車又は車両の運転により人の死傷を生じた事故(自殺以外)
鉄道物損事故	列車又は車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故

[鉄道運転事故の発生状況]



列車事故

発生していません。

踏切障害事故

踏切障害事故は39件発生しました。原因としては、踏切内での停滞が9件、直前横断が29件、その他が1件です。

鉄道人身障害事故

鉄道人身障害事故は138件発生しました。お客さまのプラットフォーム上における列車への接触や、プラットフォームから転落して列車と衝撃した事故は77件発生しており、このうち飲酒をされていたお客さまが約6割を占めています。

鉄道物損事故

発生していません。

インシデント

2016年度は、インシデントが4件発生しました。内訳は、踏切無しゃ断が2件、信号装置故障が1件、保守作業誤りが1件です。

インシデント	鉄道事故等報告規則(国土交通省令)により定められている、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態
--------	---



安全



社会

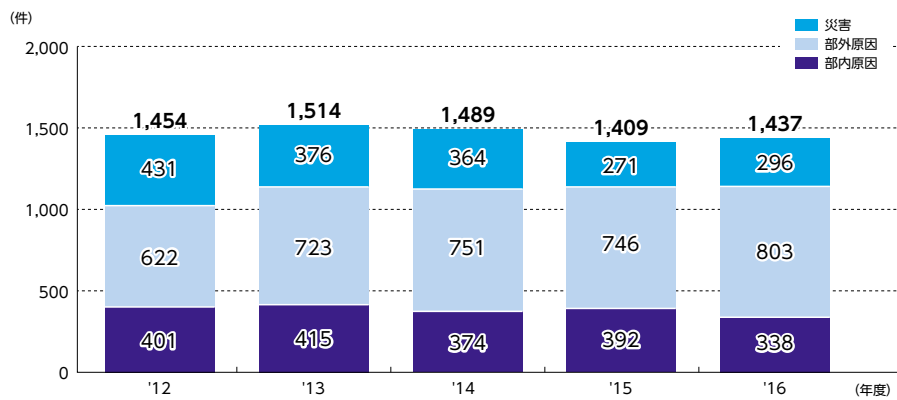


環境

輸送障害

2016年度は、輸送障害が1,437件発生しました。

輸送障害	鉄道運転事故以外で、車両や設備の故障、係員の取扱い誤り、災害などにより、列車の運転を休止したもの又は旅客列車では30分以上、それ以外の列車では1時間以上の遅延を生じたもの
災害	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波などの自然現象によるもの
部外原因	線路内立入りや自殺など、当社の原因によらないもの
部内原因	係員や車両、設備など、当社の原因によるもの





安全



社会



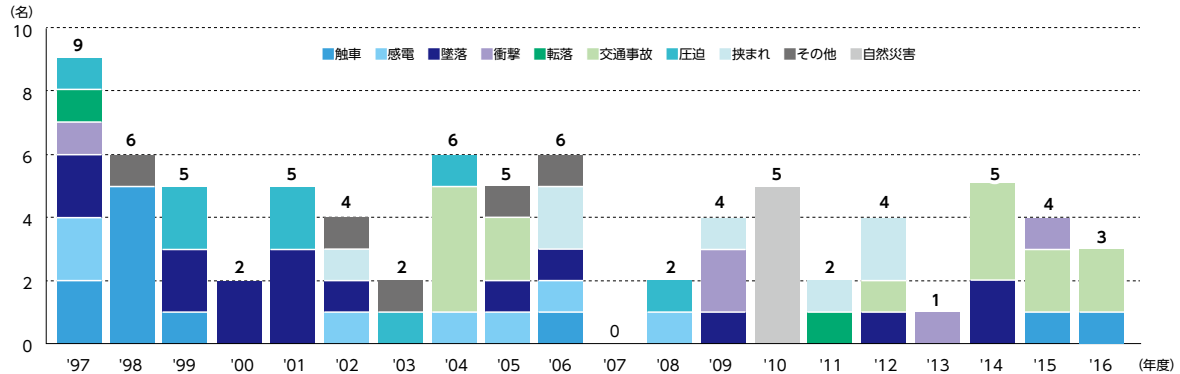
環境

労働災害の発生状況

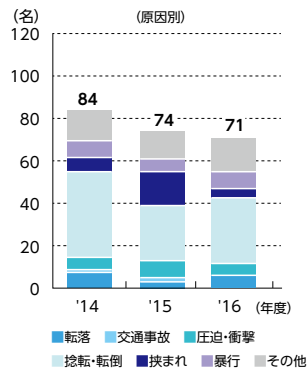
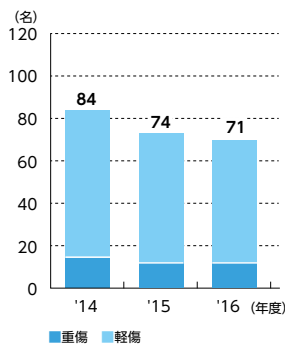
2016年度は死亡災害が3名、休業災害は201名発生しました。「グループ安全計画2018」の目標として定めた「お客さまの死傷事故・社員の死亡事故0」に向け、グループ会社等と一体となって、「安全体制とルールが定められているか」「定められたルールが守られているか」などについて引き続き取り組んでいきます。

[死亡災害の発生状況(当社社員、グループ会社等社員*)]

*グループ会社等社員とは、連結子会社社員に加え、業務上密接な関わりのある取引先であるパートナー会社等を含みます。



[休業以上災害(当社社員)]



[休業以上災害(グループ会社等社員)]

